

専修寺



SHINRAN

令和五年五月二十二日～二十八日

# 奉讃法会

開山親鸞聖人御誕生八百五十年  
立教開宗八百年  
中興真慧上人五百年忌  
聖徳太子千四百年忌

経文をお入れしております。  
大切にお取り扱いください。

真宗高田派本山

## 専修寺

三重県津市一身田町2819番地

宗務院(代表) TEL059-232-4171

特別法要事務局 TEL059-232-4177

[www.senjuji.or.jp/](http://www.senjuji.or.jp/)





「弥陀のよび声『なもあみだぶつ』を聞いてゆこう」

開山親鸞聖人御誕生八百五十年  
奉讃法会差定 五月二十一日～二十四日

立教開宗八百年

四奉請

伽陀(阿弥陀経)二句

表白

佛説阿弥陀経

正念佛偈

三重念佛一首和讃

廻向文

中興真慧上人五百年忌奉讃法会差定 五月二十五日～二十七日

伽陀(阿弥陀経)二句

佛説阿弥陀経

正念佛偈

三重念佛一首和讃

廻向文

聖徳太子千四百年忌奉讃法会差定 五月二十八日

伽陀(阿弥陀経)二句

佛説阿弥陀経

正念佛偈

三重念佛一首和讃

廻向文

## 目次

はじめに	法主 常磐井慈祥	2
ごあいさつ	宗務総長 増田修誠	3
正念佛偈		4
境内案内図		6
奉讃法会日程表・記念行事		8
新宝物館ご案内		12



## はじめに

いよいよ、五十年に一度の奉讃大法会を迎えることになりました。御遠忌も五十年に一度ですが、毎回その十一年後にやって来る御仏縁です。

今回は、四つの法会を併せて勤修いたします。一つ目は、開山親鸞聖人御誕生八百五十年です。聖人は、一二七三年、洛西の日野で生まれになりました。

数え年九歳で出家得度され、それ以降、真の教えを求め続けて、血の滲むようなご苦勞を経験されますが、幸いにして、法然上人にお会いし、お念仏の教えこそが真実であると悟り、『教行証文類』を著されます。その草稿本が完成したのが、一二二四年のこととされ、これをもって真宗の教義が確立したと見、二つ目の立教開宗八百年になります。ついつい、あつて当たり前のように錯覚してしまいがちな聖人のみ教えですが、そこに至るまでの聖人の真摯な営みを思うなら、尊さ・勿体なさに自ずと頭が下がることでしょう。

三つ目は、中興真慧上人五百年忌です。今ある高田派のアイデンティティーは上人によつて確立されたものに違いありません。上人が時代の荒波に飲み込まれることなく、「あるべき高田派の姿」を明示されたからこそ、現代の私共が「高田派では」と胸を張って言えるのです。上人の御恩はまことに甚深だと言えます。

上人は一五二二年に往生されていますが、満五百年は開山親鸞聖人の七百五十回御遠忌に重なるため、大幅に遅らせてお勤めします。四つ目は、聖徳太子千四百年忌です。開山聖人の太子敬慕は熱烈でさえありました。また、世界的に著名な仏教学者である故中村元博士も太子の尊崇に余念がありませんでした。近年、太子の業績の殆んどが誤認であったとの学説が強くなっていますが、千数百年にも亘つて日本人の精神文化の基底をなして来た事実と重さは不変です。「奉讃不退ならしめよ」との開山聖人のお示しに従う他はありません。

第二十五世法主 常磐井慈祥

## いよいよ

今年が開山親鸞聖人が京都で誕生されて八百五十年を迎え、また聖人が真宗の根本聖典である『顕浄土真実教行証文類』の草稿本を著されて八百年に当たります。加えて本山を栃木県から三重県に移す基礎を築き、東海・北陸の教線拡大などを果たされた「中興の祖」第十世真慧上人の五百年忌と、聖人が「和国の教主」とあがめられた聖徳太子の千四百年忌をお迎えいたします。

この大切な節目の年に真宗高田派本山専修寺に於いて「開山親鸞聖人御誕生八百五十年」「立教開宗八百年」「中興真慧上人五百年忌」「聖徳太子千四百年忌」の奉讃法会を厳修いたします。尊いご勝縁に感謝申し上げます、国宝の指定を受けた御影堂で「正信偈」を唱和することはこの上ない喜びであります。

奉讃法会の記念事業 開山親鸞聖人のみ教えに出遇う「新宝物館」が完成し、高田本山「唯一無二」の法宝物を後世にしっかりと受け継ぎ守らなければならない重要な記念事業であります。

謹んで、奉讃法会厳修並びに新宝物館建設に際しまして、高田派ご寺院の皆様を始め檀信徒の皆様や多くの各位皆様にご賛同いただき、大変な時期にもかかわらず多大なるご賛助を賜りましたことを心から御礼を申し上げます。次第であります。

ここに改めて、広大の仏恩に感謝申し上げます、ご家族お揃いの上、皆さまとお念仏を唱和する感謝の法会へご参拝賜りますようお願いしております。

真宗高田派宗務総長 増田修誠

正信偈を一緒に  
お勤めいたしましょう。

# 正信念佛偈

親鸞聖人のつくられたもので、一般に「正信偈」として親しまれ、日常のお勤めに用いられて、最もなじみ深い偈文です。

聖人は、最初に「帰命無量寿如来南無不可思議光」とご自身の信心を表白され、次いで『仏説無量寿経』（大経）のお示し、インドの龍樹菩薩・天親菩薩、中国の曇鸞大師・道綽禪師・善導大師、日本の源信和尚・源空（法然）上人のお導きを明らかにされ、「応信如来如実言（まさに如来如実の言を信ずべし）」、「唯可信斯高僧説（ただ、この高僧の説を信ずべし）」と大聖釈尊のみおしえと、このみりをお伝えくださった七高僧のお導きにしたがうことをお勤めになつておられます。

すなわち、この偈文は、南無阿弥陀仏のお喚び声に素直にしたがわれた聖人御自身のお喜びと、一切の人のたとが阿弥陀如来の救いにあずかつてほしいという聖人の願いがこめられた念仏の讃歌であります。

帰命無量寿如来

南無不可思議光

法蔵菩薩因位時

在世自在王佛所

親見諸佛淨土因

国土人天之善惡

建立無上殊勝願

超発希有大弘誓

五劫思惟之摂受

中夏日域之高僧

顕大聖興世正意

明如来本誓応機

釈迦如来楞伽山

為衆告命南天竺

竜樹大士出於世

悉能摧破有無見

宣説大乘無上法

証歎喜地生安樂

顕示難行陸路苦

信樂易行水道楽

憶念弥陀佛本願

自然即時入必定

唯能常称如来号

応報大悲弘誓恩

重誓名声聞十方

普放無量無辺光

無碍無对光炎王

清淨歡喜智慧光

不断難思無称光

超日月光照塵刹

一切群生蒙光照

本願名号正定業

至心信樂願為因

天親菩薩造論説

帰命無礙光如来

依修多羅顕真実

光闡横超大誓願

広由本願力廻向

為度群生彰一心

帰入功德大宝海

必獲入大会衆数

得至蓮華蔵世界

即証真如法性身

遊煩惱林現神通

入生死園示応化

本師曇鸞梁天子

常向鸞所菩薩礼

三蔵流支授浄教

成等覚証大涅槃

必至滅度願成就

如来所以興出世

唯説弥陀本願海

五濁惡時群生海

応信如来如実言

能発一念喜愛心

不断煩惱得涅槃

凡聖逆謗斉廻入

梵焼仙経帰樂邦

天親菩薩論註解

報土因果顕誓願

往還廻向由他力

正定之因唯信心

惑染凡夫信心発

証知生死即涅槃

必至無量光明土

諸有衆生皆普化

道綽決聖道難証

唯明浄土可通入

万善自力貶勤修

円満徳号勸専称

三不三信誨慙懃

像末法滅同悲引

如衆水入海一味

摂取心光常照護

已能雖破無明闇

貪愛瞋憎之雲霧

常覆眞実信心天

譬如日光覆雲霧

雲霧之下明無闇

獲信見敬大慶喜

即横超截五惡趣

一生造惡値弘誓

至安養界証妙果

善導独明佛正意

矜哀定散与逆惡

光明名号顕因縁

開入本願大智海

行者正受金剛心

慶喜一念相応後

与韋提等獲三忍

即証法性之常樂

源信広開一代教

偏帰安養勸一切

専雑執心判浅深

報化二土正弁立

極重惡人唯称佛

一切善惡凡夫人

聞信如来弘誓願

佛言広大勝解者

是人名分陀利華

弥陀佛本願念佛

邪見憍慢惡衆生

信樂受持甚以難

難中之難無過斯

印度西天之論家

我亦在彼撰取中

煩惱障眼雖不見

大悲無倦常照我

本師源空明佛教

憐愍善惡凡夫人

眞宗教証興片州

選採本願弘惡世

還來生死輪転家

決以疑情為所止

速入寂靜無為衆

必以信心為能入

弘經大士宗師等

拯濟無辺極濁惡

道俗時衆共同心

唯可信斯高僧説

# 境内案内図

開門 六時 / 朝のお勤め 七時 ~ 七時四十分頃  
 閉門 二十一時三十分 (二十八日の閉門は十八時)

御影堂・如来堂内は  
 どなたでもご自由に入室できます



壇前読経・仏間読経随時受付中  
 16:00まで / 総合案内所で受付

雲幽園見学  
 10:00 / 13:00 集合: 茶所前  
 ※当日の天候により中止の場合あり

「知られざる専修寺の至宝」展 13ページ

とうこでん  
**燈炬殿**  
 (宝物館)

⑪呈茶 11ページ

⑤特別読経(申し経) 11ページ

⑥奉讃法会絵解き 11ページ

⑩雅楽・胡弓・  
 馬頭琴の演奏会  
 (如来堂前) 11ページ

如来堂  
 によらいどう

御影堂  
 みえいどう

①奉讃法会

⑨竹灯り 11ページ

● 懇志受付

● 団参受付

⑬お寺で  
 ストリート  
 ピアノ 11ページ

⑦説教 11ページ

⑧法話大会 11ページ

ガチャガチャ会場

⑫津市・上富良野町(津市友好姉妹都市)物産展 11ページ

納骨堂  
 9:00~17:00

④行列  
 (如来堂より)  
 10ページ

②御参廟  
 (御影堂より)  
 9ページ

③御参廟  
 (大玄関より)  
 10ページ

参拝記念印は  
 総合案内所へ

団参専用  
 食事会場

5月25日(木)

11:00~12:00 **配信**

①奉讃法会

12:00~12:30 **配信**

説教 千草篤昭 師

13:30~14:30 **配信**

津軽三味線  
演奏会



駒田早代 様

5月24日(水)

9:00~10:00

②御参廟  
(御影堂より)

11:00~12:00 **配信**

①奉讃法会  
法主殿お言葉

12:00~12:30 **配信**

説教 松山智道 師

お荘厳転換のため  
聖人の御影は  
礼拝いただけません。

5月23日(火)

11:00~12:00 **配信**

①奉讃法会  
法主殿お言葉

12:00~12:30 **配信**

説教 真置信海 師

13:30~14:30 **配信** **配信**

特別講演  
『なもあみだぶつを  
聞く』ということ



真宗高田派  
鑑学 栗原廣海 師

5月22日(月)

11:00~12:00 **配信** **配信**

①奉讃法会  
法主殿お言葉

12:00~12:30 **配信** **配信**

説教 戸田恵信 師

13:30~14:30 **配信**

能公演  
観世流能 第一部



16:00~17:00 **配信**

能公演  
観世流能 第二部

5月21日(日)

9:30~10:00

本山褒賞

11:00~12:00 **配信** **配信**

①奉讃法会  
御親教

12:00~12:30 **配信** **配信**

復演 清水谷正尊 師

13:30~14:30 **配信**

席上揮毫・講演



書家 金澤翔子 様  
書家 金澤泰子 様

**配信** 高田派各別院配信

**配信** Youtube 配信

映像と音声をライブ配信します

# 御影堂の法会・行事

令和五年五月二十一日(日)～二十八日(日)

## 奉讃法会日程表・記念行事

開門 六時 / 朝のお勤め 七時～七時四十分頃  
閉門 二十一日三十分(二十八日の閉門は十八時)

専修寺  
チャンネル



⑨ 竹灯り 会場:境内  
5月21日(日)~27日(土) 19:00~21:00

⑩ 雅楽・胡弓・馬頭琴の演奏会  
会場:如来堂前  
5月21日(日)~27日(土) 19:30~20:30  
出演:雅楽倶楽部雅、ソニド デル ビエント



⑪ 呈茶 会場:御対面所 9:00~15:00  
各日100人限定 金額:500円  
5月21日(日)~24日(水) 裏千家  
5月25日(木)~28日(日) 表千家  
5月21日(日)・27日(土)・28日(日)  
高田学苑茶道部接待



⑫ 津市・上富良野町(津市友好姉妹都市)  
物産展 会場:高田会館ホール  
5月21日(日)~28日(日) 10:00~15:00

⑬ お寺でストリートピアノ 会場:山門  
5月21日(日)~28日(日) 10:00~18:00  
※お一人様、演奏時間は5分とさせていただきます。

4月22日(土)~6月18日(日)  
三重県総合博物館 企画展  
親鸞と高田本山  
~専修寺国宝からひろがる世界  
フォトコンテスト作品も展示中



⑤ 特別読経(申し経)  
会場:如来堂  
5月21日(日)~28日(日)  
10:00/13:00 ※5月28日は午後のみ



⑥ 奉讃法会絵解き  
会場:如来堂  
5月27日(土) 16:00  
『聖徳太子絵伝』  
柳野明仁 師  
5月28日(日) 14:30  
『一光三尊佛絵伝』  
小林玲子 様



⑦ 説教 会場:大講堂  
5月21日(日)~28日(日) 12:30~(1時間)  
21日(日) 島 義厚 師  
22日(月) 隆 妙瀧 師  
23日(火) 里榮秀 教師  
24日(水) 安田真源 師  
25日(木) 藤澤真純 師  
26日(金) 花山光瑞 師  
27日(土) 浦井宗司 師  
28日(日) 大河戸悟道 師

⑧ 法話大会 会場:大講堂  
5月21日(日)~28日(日) 15:00~

その他行事

聖徳太子1400年忌

5月28日(日)

9:00~10:00

仏教讃歌の集い  
高田幼稚園、高田保育園  
コーラス海

10:30~11:00 配信

④ 行列太子堂(如来堂より)

11:00~12:00 配信 配信

① 奉讃法会

12:00~12:30 配信 配信

説教 佐波真 教師

13:30~14:30 配信

特別講演  
聖徳太子のころ



聖徳宗本山法隆寺  
管長 古谷正覚 師

15:30~17:00 配信

白子ウインドシンフォニカ  
演奏会



中興上人500年忌

5月27日(土)

9:00~10:00 配信

③ 御参廟  
(大玄閣より)

11:00~12:00 配信 配信

① 奉讃法会

12:00~12:30 配信 配信

説教 梅林久高 師

13:30~14:30 配信

特別講演  
聖徳太子信仰  
飛鳥時代から現代へ



和宗総本山 大阪四天王寺  
宗務総長 南谷恵敬 師

15:00~16:00 配信

高田高校演奏会  
箏曲部、音楽部、吹奏楽部  
放送部

5月26日(金)

11:00~12:00 配信

① 奉讃法会

12:00~12:30 配信

説教 藤浦弘導 師

13:30~14:30 一部配信

講演  
仏像の楽しい見方



仏像イラストレーター  
田中ひろみ 様

奉讃法会期間中のご案内

第1回  
企画展

知られざる  
**専修寺の至宝**  
親鸞聖人の門弟がつないだ高田派800年

奉讃法会を記念して、親鸞聖人ゆかりの法宝物をはじめ、  
聖人をお念仏に導いてくださった聖徳太子や高僧方に関わるもの、聖人の門弟ゆかりのものなど、  
これまで公開されてこなかった法宝物を中心に展覧します。



親鸞聖人左向御影

第1章  
お念仏に生きた聖人



馬乗太子像

第2章  
聖人を導いた先徳



真慧上人像(初公開)

第3章  
お念仏を伝えた門弟



後陽成天皇筆 龍虎

第4章  
専修寺に伝来する名宝

VRシアターでは  
OJODOを上映します

圧倒的没入感が極楽浄土の世界を  
体感できるプログラムです。  
最新のデジタル技術を駆使して表現された  
極楽浄土の世界をご堪能ください。

期間中観覧無料

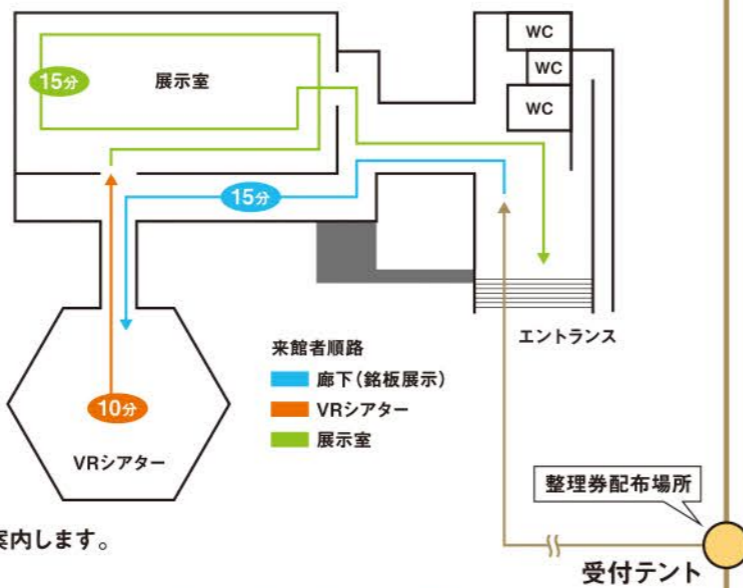
5月21日(日)~28日(日)

開館時間:9:00~17:00(入館は閉館の30分前まで)

奉讃法会期間中は混雑が予想されますので  
入館時間指定整理券を配布し、観覧時間を限定してご案内します。  
(整理券は当日朝8:30より受付テントにて配布します)

期間中のおおよその所要時間: 指定時間に入館→上映待ち時間(15分)→VR上映(10分)→展示観覧(15分)

新宝物館 期間中順路のご案内



来館者順路  
廊下(銘板展示)  
VRシアター  
展示室

奉讃法会終了後は展示替えのため、5月29日から6月2日まで休館いたします。

後期展示:6月3日(土)~7月2日(日) 開館時間/9:30~15:30(入館は閉館の30分前まで)

休館日/月曜日 観覧料/一般1,000円、中高生500円、小学生以下無料

詳しくは  
こちら→



親鸞聖人の教えにであう場所

新宝物館  
燈炬殿

聖人の教えを伝える法宝物を大切に守る収蔵庫。

専修寺の思想・歴史・文化を見せる展示室。

最新のデジタル技術で仮想現実を表現したVRシアター。

古きも新しきも体験し、未来を夢みることができ宝物館ができました。

専修寺が受け継いだ法宝物から

親鸞聖人の教えをまなぶ

展示室



親鸞聖人

360度映像空間で

親鸞聖人の教えにふれる

VRシアター  
(文化財活用室)



写真上/OJODO  
写真下/SENJUJI360  
(公開は6月以降)

新宝物館の名称は燈炬殿(とうこでん)

「燈炬殿」とは、「無明長夜の燈炬なり」という『正像末法和讃』35首目の一節にちなんで名付けられました。  
親鸞聖人は、心を悩ませ苦しめる煩惱から逃れることができない人間のありさまを“明けることのない長い夜”に  
譬え、「阿弥陀如来の本願こそが煩惱の長い夜の闇を破る大いなるともしび(燈炬)である」とうたわれています。  
ぜひ、親鸞聖人の教えにふれ、実感できるこの燈炬殿で、私たちの心の闇を“智慧のともしび”で破ろうとする  
阿弥陀如来の光明に照らされてまいりましょう。

